

## 看護学科 3年 後期 専門基礎科目／専門科目

1. 保健医療福祉統計概説
2. 総合実習

## 看護学科

科目名: 保健医療福祉統計概説				担当教員 氏名: ○高橋絹代、島田ひろき、山元恵子、坂東紀代美、岩城直子、大橋達子、小倉之子、中田智子、古里直子、稲垣尚恵、泉朱子、炭谷英信、新任		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	3年次 後期	専門強化科目	講義	選択		
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 看護師、医療職等の現場の豊富な経験と知見を有する専門の講師によるオムニバスで授業を行う						
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード	
各専門領域の教員が担当する国家試験受験のための知識確認 保健、医療、福祉に関する統計の数値を読み解き、看護実践に活かすことができる 総合的な知識を確認するための「看護師国家試験受験資格認定許可」に位置付ける					統計 疾病 医療 福祉	
授業における学修の到達目標						
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)						
A 知識・理解力	各分野の保健、医療、福祉を復習し知識として定着させる					
B 専門的技術	各領域の専門的対応に対する問いに答えることのできる					
D 問題解決力	問いの意味するところを正確に理解し対応できる					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 90 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学修 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:						
授 業 計 画			準備学修(予習・復習等)			
			学修内容	学修に必要な時間(分)		
①必修1【泉】			各科目の講義を受け、理解する  国民衛生の動向に必要なデータについて理解する  不確かな項目について、担当教員に質問し、確実に理解を深める  問いに対する根拠を理解する	予習60分		
②必修2【岩城】				復習240分		
③人体の構造と機能【島田】				予習60分		
④疾病の成り立ち【大橋】				復習240分		
⑤健康支援と社会保障【炭谷】				予習60分		
⑥看護の統合と実践【山元】				復習240分		
⑦基礎看護学【高橋】				予習60分		
⑧成人看護学1【中田】				復習240分		
⑨成人看護学2【小倉】				予習60分		
⑩老年看護学【米山】				復習240分		
⑪小児看護学【古里】				予習60分		
⑫母性看護学【稲垣】				復習240分		
⑬精神看護学【坂東】				予習60分		
⑭地域・在宅看護学【炭谷】				復習240分		
⑮保険医療福祉統計概説 試験【高橋】				予習60分		
使用テキスト: これまで使用した全てのテキスト 国民衛生の動向(厚生統計協会) 図説 国民衛生の動向(厚生統計協会)				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 各授業は3年間の授業のまとめであり、看護師国家試験に向けた最終のまとめ授業となります。						

## 看護学科

科目名： 総合実習				担当教員 氏名： ○、山元恵子、高橋絹代、米山美智代、今川孝枝、小倉之子、中田智子、古里直子、稲垣尚恵、横道、泉朱子、炭谷英信					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	3年次	後期	専門科目	演習	必修				
実務経験を用いてどのような看護実践から管理、職能団体代表等の経験を活かし、看護倫理から地域活動までの広い知識と経験を基に実習を授業を行っているか： コーディネートしている									
授業科目の学修教育目標の概要：						キーワード			
これまでの領域実習の経験を踏まえ、看護専門職の役割を認識しつつ、チームメンバーとして看護実践を行い、看護管理の実際を学ぶことで、将来の看護専門職としての自覚を養う。						看護観・看護管理 看護提供システム チーム医療 医療安全			
授業における学修の到達目標									
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)									
A 知識・理解力	これまで授業・演習や領域実習で学んだ知識や経験を統合し、専門職としての実践を試み、今後の自己課題について考える								
B 専門的技術	複数の患者を受け持ち、優先度、時間配分を考慮した看護展開する								
C 論理的思考力	理論と実践の統合を目指して思考を深める								
E 自己管理能力	実習中の健康管理に留意し、社会的に迷惑を掛けずに終える								
F チームワーク・リーダーシップ	病院、病棟における管理体制を把握し、看護チームにおけるリーダーの役割、メンバーの役割、メンバーシップを実践する								
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト：	%	レポート：	%	発表：	%	実技試験：	%	その他：	100 %
特記事項： 理論と実践の統合を目指し、主体的に取り組むことを期待している。 提出物は期限を厳守する。 原則とし遅刻、欠席は認めない。 卒業後の専門職として働くことを前提に、自己の課題を明確にする。									
アクティブラーニング要素：									
課題解決型学修	ディスカッション、ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： ・評価は出席状況、実習記録、課題レポート、実習全体の目標に応じた結果と成果で評価する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： 担当教員が赤でコメントを入れた箇所では修正が必要な場合、青で修正を行う									
使用テキスト：これまで授業、領域別実習で活用したすべてのテキスト教科書を参考にする				その他参考文献など： 受け持ち患者の疾病、病態、看護が理解できるように適宜文献を検索する。 病棟の管理が理解できるように病院の医療安全のマニュアル等も参考にする。					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 遅刻、欠席をしないように、日頃からの健康及び生活管理できるように免疫力を高める。 知識、技術、態度、基礎・領域別実習等を統合させた実習であることを理解する。									
授 業 計 画					準備学修(予習・復習等)				
					学修内容	学修に必要な時間(分)			
回数	3年次 2単位 90時間				【予習】事前課題は実習前にまとめて提出。実習前日は翌日の実習行動計画を立案	60分×14回			
	実習期間：2025年9月29日～10月24日 内病院実習：2024年10月6日～17日				【復習】実習終了後は、一日の評価と学びを記録。				
	実習病院：8か所				【評価】実習終了後は速やかに目的に応じた実習要約を書き上げ、自己評価する。	60分×14回			
	厚生連高岡病院8名・高岡市民H8・済生会富山H8・ 金沢医科大学氷見市民H6・射水市民H6・西能H6・ 黒部市民H5								
	以上 55名予定								